

○指導のねらい

聞き手は気持ちの良い聞き方への理解を深めるとともに、話し手は受容される体験をすることで話をする事による安心や心の安定に気付く。

○準備するもの

- ・ ルール説明の模造紙、ふりかえりシート

○教育課程、実施時期

- ・ 特別活動（学級活動・ホームルーム活動） ・ SHR 等

○指導のポイント・留意点など

話し手が気持ち良く話ができるようにするために、聞き手は「うん、うん」「それで、それで」「いいね」「そうなんや」「どうして」の五つの言葉のみ使用すること、話を聞く姿勢、視線について各自で工夫をすることを指示する。

展開例

	教員の指示	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペアで話をする活動をしたいと思いません。でも、今回は聞き手になった人に約束があります。話し手が、たくさん話したくなるように聞いてほしいのです。 ○ 話し手の話をしっかりと聞いて、聞き手は次の五つの言葉を使って話を聞いてください。 「そうなんや」「それで、それで」「うん、うん」「いいね」「どうして」 ○ 相手が気持ち良く話ができるように聞いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の活動のポイントが、聞き方にあることに気付かせる。 ○ 聞き手の返事は五つの言葉のみとする。相手の話の内容をしっかりと聞いて、五つの言葉を使い分けることが大切であることを伝える。

<p>展 開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の話のテーマは、「○○」です。 ○ では、ペアをつくり、どちらが先に聞き手をするか決めたらスタートです。時間は1分間です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ じゃんけん等により、話し手と聞き手を決める。1分間、話をする。 ○ 時間です。話し手と聞き手を交代します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 役割を交代し、同じテーマについて、1分間、同じように話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話のテーマの例として「ドラえもんから道具を借りるとしたら？」 「給食がバイキングだったらメニューに入れてほしいものは？」など非日常的な話しやすいテーマ設定を考える。回数を重ねてきたら、児童生徒がテーマを決めてもよい。 ○ 話し手は、テーマについて1分間話し、聞き手は、話し手の児童生徒の話をもつ言葉をを使いながらよく聞くように促す。
<p>ま と め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話を聞いてもらってどんな感じがしましたか。ペアで話をしてみましょう。 ○ 「ふりかえりシート」に記入しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな話の聞き方がよかったのかお互いに伝え合い、話の聞き方を考えさせる。 ○ 全てを肯定されたあと、どんな感じがしたかに気付かせる。

ふりかえりシート（「話を聞かせて」）

年 組 名前 _____

1. 今回の活動をふりかえり、話をしているときの自分の気持ちに当てはまるものを全て選び、○をつけましょう。

思いが伝わった 思いが伝わらなかった 不安だった 安心感があった

楽しかった 難しかった すっきりした はずかしかった

2. 今日の活動で気づいたことや思ったことを書いてみましょう。

.....

.....